

調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」◇全国学力	指導上の課題
<p>◎①要旨の把握の問題において、広島県の通過率が41.3%であるのに対し、本校の通過率は32.4%と8.9ポイント低い。</p> <p>◎②根拠に基づいた考えの記述の問題において、広島県の通過率は62.2%であるのに対し、本校の通過率は49.3%と12.9ポイント低い。</p> <p>◇①書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す問題において、全国の通過率が72.1%であるのに対し、本校の通過率は65.6%と6.5ポイント低い。</p> <p>◇②人物の言動の意味を考え、その姿を想像する問題において、全国の通過率が67.2%であるのに対し、本校の通過率は64.2%と3ポイント低い。</p>	<p>◎①説明的文章の学習において、段落の要旨、段落の働き、筆者の主張等の読解を行ってはいいるが、読解のスキルが定着できていない生徒が多い。</p> <p>◎②根拠に基づいた考えの記述の問題を定期試験にも取り入れているが、複数の資料や意見を比較して考える問題になっていない。</p> <p>◇①授業において、文章を書く活動は多く取り入れているが、書いた文章について意見を交流する活動が少ない。</p> <p>◇②文学的文章の読解において、場面ごとの読解となっていることが多い。</p>

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎①説明的文章の学習において、学習の初期段階で、段落の要旨や、段落の働き、筆者の主張等を自分なりにまとめる活動を行う。その後の授業で詳しい読解を行った後、自らの初期段階の読解を振り返り、足りなかった部分を把握することにより、読解スキルを高める。</p> <p>◎授業や定期試験において、複数の資料や意見を比較・検討し、自らの考えを記述する活動や問題を取り入れる。</p> <p>◇①書いた文章を読み合い、意見を交流する活動を取り入れる。その際には、「構成」や「意見と根拠の整合性」など、交流の重点を定める。</p> <p>◇②文学的文章の授業において、文章全体の展開や人物設定をふまえた登場人物の言動の意味や心情の読解を取り入れる。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO				CHECK	ACTION	CHECK		CHECK
	<ul style="list-style-type: none"> 検証問題の設定。 課題改善のための日常的な取組を行う単元や教材を設定する。 	授業において課題改善のための取組を行う。				福山市調査問題 ①50%以上 ②65%以上	<ul style="list-style-type: none"> 福山市調査問題の結果をもとにして理解度と課題を把握する。 授業において課題改善のための取組を行う。 	全国学力・学習状況調査		「基礎・基本」定着状況調査

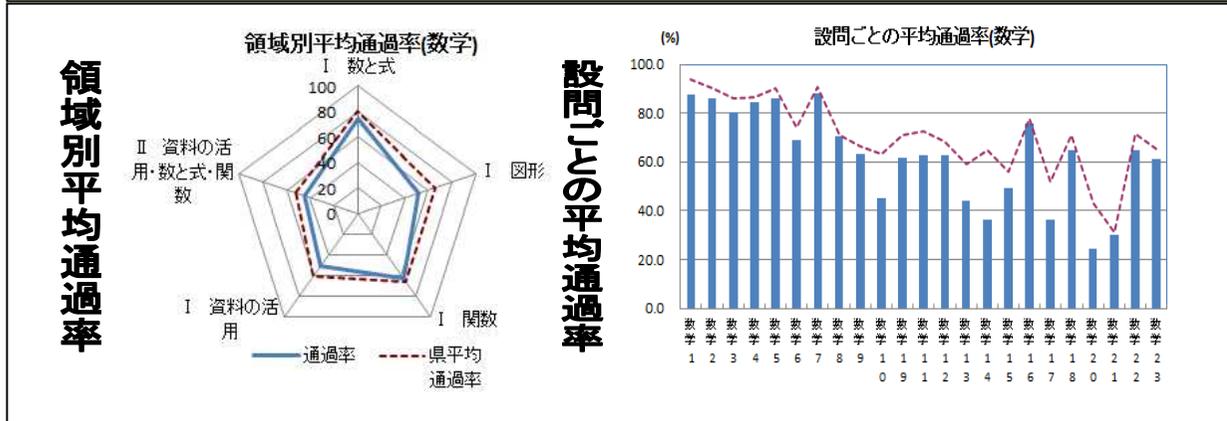
検証	○時期： 2月	○方法： 2学年 福山市調査問題	○目標： ①50%以上 ②65%以上	○結果：
-----------	---------	------------------	--------------------	------

2014年度(平成26年度)授業改善シート

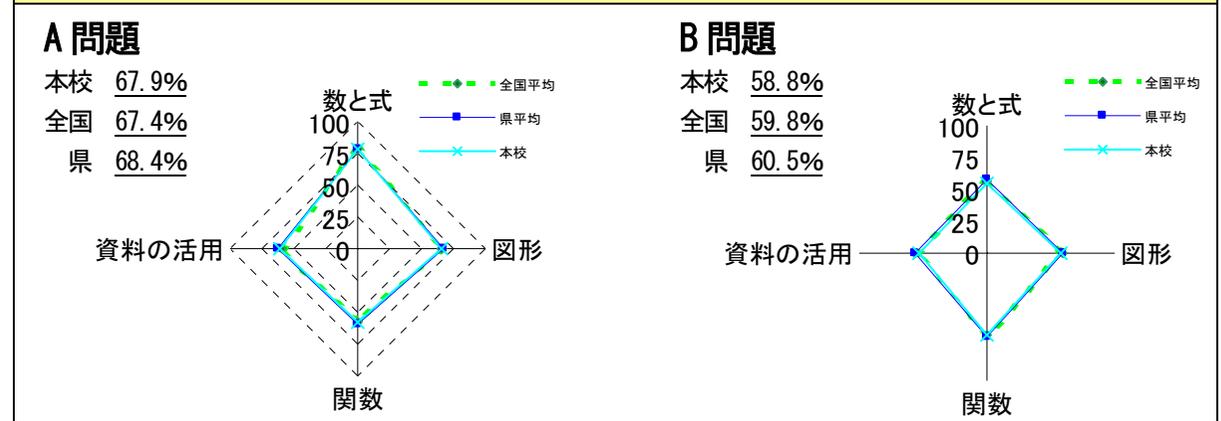
〔 数学 〕

校番(27) 福山市立駅家南中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 62.3%, 県 70.2%)



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」◇全国学力	指導上の課題
<p>◎①一次方程式の立式の問題について、広島県の通過率が63.9%に対し、本校の通過率は44.9%と18.4ポイント低い。</p> <p>◎②グラフ上の点を答える問題について、広島県の通過率が55.8%に対し、本校の通過率は49.3%と6.5ポイント低い。</p> <p>◇①一次関数の変化の割合の意味を理解する問題について、広島県の通過率が47.6%であるのに対し、本校の通過率は39.1%と8.5ポイント低い。</p> <p>◇②図形の回転移動について、移動前と移動後の図形を読み取る問題は、広島県の通過率は43.4%に対し、本校の通過率は33.8%と9.6ポイント低い。</p>	<p>◎①数量関係を文字式で表現する機会を十分に設けていなかった。また、立式し、再考させる習慣が身につけていなかった。</p> <p>◎②グラフの特徴やグラフや式を数学的に表現することの理解が十分でなかった。</p> <p>◇①数量関係において、一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けさせ、説明をさせる機会が十分に設けていなかった。</p> <p>◇②見通しをもって作図をし、平面図形についての理解が十分でなかった。</p>

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎①数量関係や法則を文字式で表現することが理解できていないと考えられる。それらを改善するには、方程式の立式に必要な数量関係を把握させることが必要となるので、立式した文字式が何を表しているのか、再考することを指導していく。</p> <p>◎②授業の中で演習問題を取り入れ既習内容を確認できるようにし、座標の表し方とその意味を定着させていく。</p> <p>◇①具体的な事象における二つの数量の変化や対応を調べさせ、表、式、グラフを相互に関連付けながら、変化の割合の意味を理解させていく。また、比例、反比例、一次関数と2乗に比例する関数の変化の様子を比べながら関数の理解を深めていく。</p> <p>◇②図形の移動について理解し、二つの図形の関係が理解できていないと考えられる。それらを改善するには、図形をかくという操作をさせ、基礎的な技能を身に付けさせるとともに、直観的な見方、考え方を深め、図形についての理解を深めていく。</p>

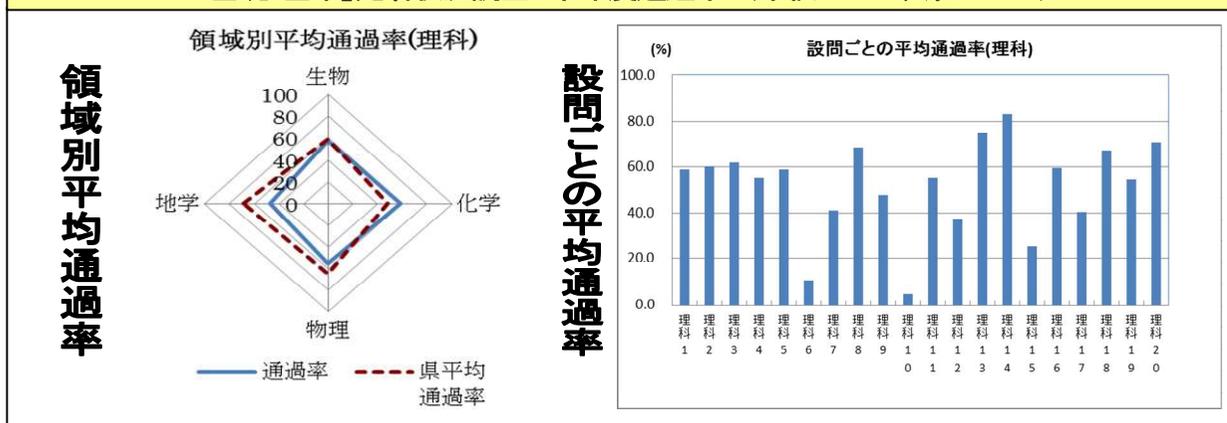
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO				CHECK	ACTION	CHECK		CHECK
	・検証問題の設定。 ・授業の中で行う演習問題を設定する。	・毎回の授業の中で演習問題を行う。				福山市調査問題 ①75%以上 ②70%以上	・定期試験の結果をもとにして理解度と課題を把握する。	全国学力・学習状況調査		「基礎・基本」定着状況調査

検証	○時期：2月	○方法：2学年 福山市調査問題	○目標：①75%以上 ②70%以上	○結果：
----	--------	-----------------	-------------------	------

2014年度(平成26年度)授業改善シート〔理科〕

校番(27) 福山市立 駅家南 中学校

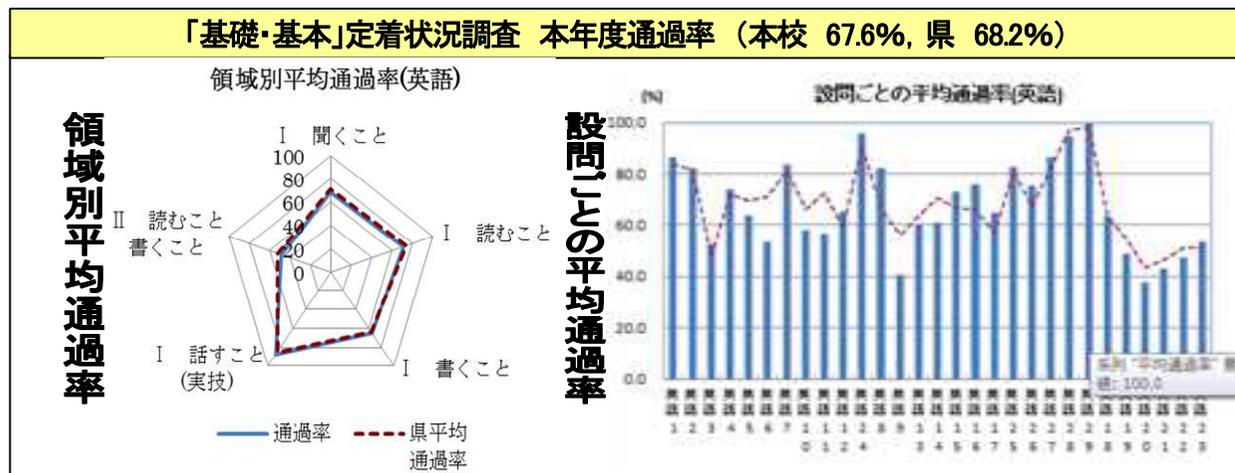
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 51.7%, 県 55.0%)



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題	生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎①火山灰の観察における操作方法の問題について、広島県の通過率が45.1%、福山市の通過率が36.1%であるのに対し、本校の通過率は10.3%と県平均からは34.8ポイント、市平均からは25.8ポイントと県平均、市平均それぞれを大きく下回っている。</p> <p>◎②塩化ナトリウムの溶解度曲線をもとに、塩化ナトリウムの結晶を取り出すことができない理由を答える問題について、広島県の通過率が17.6%、福山市の通過率が12.2%であるのに対し、本校の通過率は4.4%と県平均からは13.2ポイント、市平均からは7.8ポイント低い。</p>	<p>◎①火山灰の観察における操作方法については、知識としておさえる程度にしか授業では扱っておらず、実際に観察を行うことで、生徒に体験させることをしていなかった。</p> <p>◎②グラフを活用して思考させる授業をほとんど実施していなかった。また、実験の結果をもとに考察させるときに、考える視点を与えたり、目的と関連付けさせたりするなどの指導をあまり行っていなかった。</p>	<p>◎①実際に観察し、体験として身に付けさせることなく、知識の定着のみに留まってしまうような指導になったため、生徒の理解を深めさせることができず、技能として身に付けさせることができていなかった。したがって、できるだけ多く、観察や実験などを行い、生徒が実際に体験することを通して理解を深めるとともに、強く印象に残せるように指導していく。</p> <p>◎②生徒においては、表やグラフのデータを分析し、それらをもとに思考する力に課題があると考えられる。その課題を改善するために、授業では、考える視点を与えたり、目的と関連付けさせたりするなどの指導の工夫を行う。また、科学的な概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動をできるだけ多く取り入れ、論理的思考力、表現力を養っていく。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO					CHECK	ACTION		CHECK
	検証問題の設定 授業内容(展開、 発問など)の見直し。	視点を与えた上で 思考させる授業を 行う。 目的意識を常に持 たせて実験を行 う。					学年末テスト ①70%以上 ②65%以上	・テストの結果を もとに1・2学年 の内容を復習す CHECK 全国学力・学習状 況調査		「基礎・基本」定 着状況調査

検証	○時期： 3月	○方法： 定期テスト問題 (技能, 思考・表現)	○目標： 正答率①70%以上, ②65%以上	○結果：
----	---------	--------------------------	------------------------	------



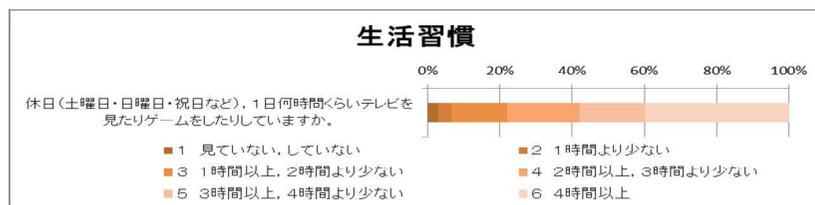
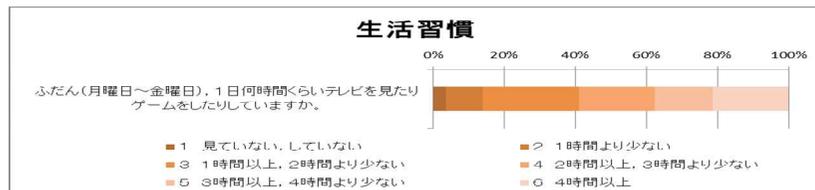
調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題
<p>◎①概要や要点の把握をする問題について、広島県の通過率が 71.1%であるのに対し、本校の通過率は 53.4%と 17.7 ポイント低い。</p> <p>◎②適切な語を用いた会話文の組み立てに関する問題について、広島県の通過率が 72.6%であるのに対し、本校の通過率は 56.4%と 16.2 ポイント低い。</p>	<p>○リスニングにおいて、英文を聞きとって問いに答える活動は行っているが、概要や要点を把握する問題には取り組めていない。</p> <p>○会話文の組み立てにおいて、モデル文を参考に対話する活動は行っているが、対話に合うように適切な語を考える活動は少ない。</p>

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎①英文を聞きとる活動では、情報を得て問題を解いていく活動だけではなく、概要や要点を把握する活動を取り入れていく。そのため、聞きとる英文の量を多くし、その中から必要な情報を聞きとっていくような取組を行う。また、英語特有の連結する音や発音しない語などがあることに留意しながら聞きとる練習を行っていく。</p> <p>◎②英文を書く場合には、常に文構造を意識させる。対話の活動の時は、モデル文を参考に対話をするだけではなく、対話に合うように適切な語を考えさせる取組も行っていく。文の構造を考えながら対話を練習させる。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	<p>PLAN</p> <ul style="list-style-type: none"> 検証問題の設定 課題改善のための教材を設定する。 	<p>DO</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で課題改善のための演習を取り入れる。 				<p>CHECK</p> <p>福山市調査問題 ①60%以上 ②65%以上</p>	<p>ACTION</p> <ul style="list-style-type: none"> 福山市調査問題の結果をもとに、生徒の理解度と課題を把握する。 春休み課題で、弱点強化に取り組む。 	<p>CHECK</p> <p>全国学力・学習状況調査</p>		<p>CHECK</p> <p>「基礎・基本」定着状況調査</p>

検証	○時期：2月	○方法：2学年 福山市調査問題	○目標：①60%以上 ②65%以上	○結果：
----	--------	-----------------	-------------------	------

(1) 生活・学習

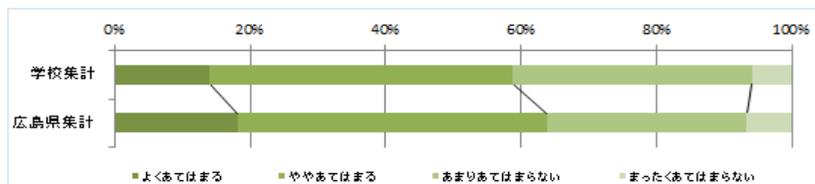


生徒の回答についての課題（現状値）	課題改善のための日常的な取組み
◎「基礎・基本」◇全国学力	
◎ふだん1日何時間くらいテレビを見たり、ゲームをしたりしていますか。(2時間以上58.8%、4時間以上21.3%)。休日、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。(2時間以上78%、4時間以上39.7%) ◇家で、学校の授業の復習をしていますか。(57.6%)	◎テレビやゲームを行っている時間に変わるような家庭学習を充実させる。本校での復習システムの取組みを継続的に行い、復習システムの定着がみられない生徒に対し、家庭学習の手立てや家庭との連携を図る。 ◇学習の見通しを持たせ計画的に家庭学習に取り組むようにする。生徒の家庭で過ごす時間と家庭学習への従事時間を表で示すことで自覚し改善できるようにする。

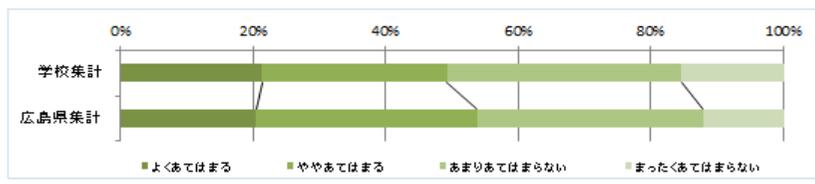
検証	○時期：3月 ○目標：平日テレビ・ゲームの従事時間2時間以上20ポイント減	○方法：自主ノート点検 ○結果：
-----------	--	---------------------

(2) 教科

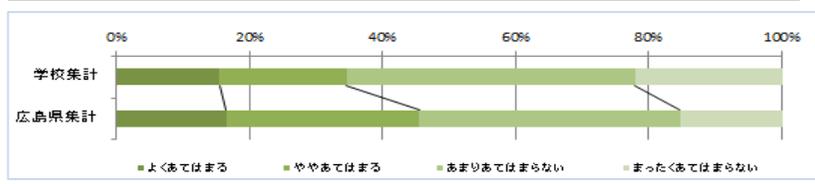
国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。



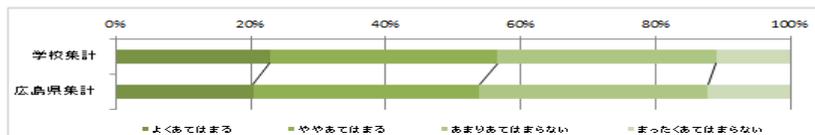
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	課題改善のための日常的な取組み
	◎「基礎・基本」◇全国学力	
国語	◎国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。(58.9%) ◇国語の授業で意見など発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。(45.1%)	◎発表を道徳や学活および他教科とも連携する。具体的に、相手の話のテーマ、要旨、主張を意識的に聞き取り、的確にとらえるための活動を行う。 ◇会話の目的や相手にわかりやすく伝えることを意識した活動を取り入れる。
数学	◎数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。(49.2%) ◇数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。(41.0%)	◎1つの解法にこだわらず、様々な解法の手立てを考えさせる指導を行ったり、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて考えるようにする。 ◇日常生活の中での数学的事象を紹介したり、日常の数学課題を生徒自らが発見・発信できるきっかけをつくる。
理科	◎理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(34.5%)	◎問題解決学習を取り入れ、仮説・討論・実験(観察)・考察・結論を通して、科学的な思考力・判断力を身につけさせ分りやすく伝えるスキルを身につける。
英語	◎英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。(56.6%)	◎教科書や様々な教材を素材にし、事実や意見などについて自分の意見や考えを持ち、英語で記録する習慣をつける。また、事実や意見を整理して伝えたり、直感的な気持ちを伝える体験活動を仕組みスピーチとして発表させる。

検証	○時期：3月 ○目標：それぞれの教科で20ポイント増	○方法：福山市調査問題 ○結果：
-----------	-------------------------------	---------------------